

令和4年度事業活動報告

(令和5年5月1日現在)

1 法人の概要

(1) 沿革

- 1985 (昭和 60) 年 4 月 (社) 北葛北部医師会幸手准看護学校開校
幸手市大字下字和田 58-1
- 2011 (平成 23) 年 4 月 (学) 橘心学園幸手准看護学校に変更
- 2012 (平成 24) 年 4 月 1 学年定員を 50 名から 60 名とする。
- 2014 (平成 26) 年 3 月 幸手准看護学校を幸手看護専門学校に改める。
- 2014 (平成 26) 年 4 月 幸手市香日向 4-5-1 に移転し、2 学科制とする。
[
・ 専門課程：看護学科 2 年課程、全日制
・ 高等課程：准看護学科、全日制
- 2017 (平成 29) 年 4 月 看護学科 3 年課程を増設し、3 学科制とし併せて学科名の改称をする。
[
・ 専門課程：第一看護学科 3 年課程、全日制
・ 専門課程：第二看護学科 2 年課程、全日制
・ 高等課程：准看護学科、全日制
- 2020 (令和 2) 年 4 月 3 学科の名称の統一化を図る。
[
・ 専門課程：第一学科 3 年課程、全日制
・ 専門課程：第二学科 2 年課程、全日制
・ 高等課程：第三学科准看護課程、全日制
- 2021 (令和 3) 年 4 月 学生定員の変更
第一学科 40 名を 50 名、第二学科 40 名を 30 名とする。
- 2022 (令和 4) 年 4 月 学生定員の変更
第一学科 50 名を 60 名、第三学科 40 名を 30 名とする。
- 2023 (令和 5) 年 4 月 保健学科 1 年課程を増設し、4 学科制とする。
[
・ 専門課程：保健学科 1 年課程、全日制
・ 専門課程：第一学科看護 3 年課程、全日制
・ 専門課程：第二学科看護 2 年課程、全日制
・ 高等課程：第三学科准看護課程、全日制

(2) 建学の理念

人間形成と確かな知識と技術の修得

(3) 教育目標

① 社会のニーズに応える人材育成

②科学的根拠に基づいた看護の実践、看護の判断力、多職種と連携・協働
 良い人間関係を育む

(4) 設置する課程

専門課程：保健学科 全日制 1年課程 1学年定員 30名
 専門課程：第一学科 全日制 看護3年課程 1学年定員 60名
 専門課程：第二学科 全日制 看護2年課程 1学年定員 30名
 高等課程：第三学科 全日制 准看護課程 1学年定員 30名

(5) 学生数の状況

専門課程：保健学科

	入学定員	実人員	備考
1年(1回生)	30	29	女子24、男子5

専門課程：第一学科

	入学定員	実人員	備考
1年(6回生)	60	62	女子50、男子12
2年(5回生)	60	59	女子50、男子9
3年(4回生)	50	52	女子45、男子7
計	170	173	女子145、男子28

専門課程：第二学科

	入学定員	実人員	備考
1年(9回生)	30	31	女子24、男子7
2年(8回生)	30	21	女子17、男子4
計	60	52	女子41、男子11

高等課程：第三学科

	入学定員	実人員	備考
1年(39回生)	30	28	女子24、男子4
2年(38回生)	30	31	女子28、男子3
計	60	59	女子52、男子7

合計	320	313	女子262、男子51
----	-----	-----	------------

(6) 役員の概要

定員数 理事 5名 実員数 5名
監事 2名 実員数 2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別
理事長	瀧澤三郎	常勤
理事	高乗正臣	非常勤
理事	矢澤將之	非常勤
理事	瀧澤聡	常勤
理事	米山泰正	非常勤
監事	木村初子	非常勤
監事	川村康雄	非常勤

(7) 評議員の概要

定員数 12名 実員数 12名

(8) 教職員の概要

校長 1、副校長 1、副校長補佐 2、学科長兼教務主任 3、学科長 1、教務主任 1、第一学科教務 16 (常勤 15、非常勤 1)、第二学科教務 6 (常勤 4、非常勤 2)、第三学科教務 5 (常勤 5)、保健学科教務 4 (常勤 4)、事務 13 (常勤 13、非常勤 1)、部外講師 (4 学科計) 111 名 (医師 25、大学教授 7、准教授 3、助教授 1、元高校教員 3、元小学校校長 3、助産師 2、保健師 3、看護師 25、薬剤師 3、臨床検査技師 2、理学療法士 5、臨床心理士 1、精神保健福祉士 2、放射線技師 1、栄養士 1、管理栄養士 1、その他 22)

2 主な事業概要

本学園の教育理念である「人間形成と確かな知識と技術の修得」のもと、社会のニーズに応えるべく有為な看護師の育成に向け、学内組織の各科に新たに副主任制を設けて学生支援業務の円滑化を図ると共に、前年同様に新型コロナウイルス感染防止に努めながら計画通り進めることが出来ました。また、遠隔授業等を導入したのを機に、より一層オンライン学習の充実に努め、本年度の事業活動の基本方針である「柔軟な教育活動の展開」、「看護教育の質の向上」及び「確かな学生募集活動の推進」の3本柱に基づき、それぞれの主な活動に取り組むことが出来ました。

(1) 柔軟な教育活動の推進

- ① コロナ禍3年目を経て学んだ学習方法に工夫を重ね、遠隔授業等のための学内のWi-Fi環境の整備をしGoogle クラスルームを活用、講義資料等の発受及び学生との連絡や伝達方法の効率化を図った。
- ② コロナ感染拡大防止の為、医療機関での実習が困難なことから、教育用電子カルテ Medi-EYE を導入の上、学内演習に切り替えシミュレーション学習の向上に努めた。
- ③ 全教室のホワイトボードの改修や、4階教室に大型モニターを設置するなど、学習環境の整備を図った。また、常勤教務にipadを配布し課題やミニテストなどスムーズに行える環境を整えた。
- ④ 自己評価の結果を基に外部評価委員と意見交換をし次年度に向け進めていくこととした。
- ⑤ 新カリキュラムの導入により、小学校及び地域包括センターなどへの実習を広げることで、より一層地域と連携を深めることができた。

(2) 看護教育の質の向上

- ① 休日の活用による研修のみに限らず、教職員の研修時間の確保を図るため、ICTの活用や「NEO」の導入を図り、いつでも研修を受けることができるように配慮した。
- ② 教職員の各種研修会への派遣
 - (ア) 令和4年度の入学生から適用される「新カリキュラム」に向けての学内研修を重ねると共に、セミナーや「看護師国家試験対策・学生指導法」などのWeb研修に多くの教員が積極的に参加できるよう努めた。
 - (イ) 国試等の模試の状況に応じて、外部講師による看護師国家試験対策、准看護師資格試験対策を授業時間割に組入れるなど講じ、合格率を上げることに努めた

【看護師国家試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
第一学科	29	27	93.1%
第二学科	30	29	96.7%

【准看護師資格試験】

学科	受験者数	合格者数	合格率
第三学科	21	21	100%

- ③ 定例会等を通しての教職員連携
連絡調整会議、（1年18回開催）教務会等定例会を通して情報の共有を図り円滑な学校運営に努めた。
- ④ 保護者会を通しての情報共有
学科間連携した外部講師による国家試験対策を図ると共に、ZOOMによる保護者会を開催し、国試に向け連携を図った。
- ⑤ 適切な課外活動等の実施
校外研修では、ミュージカルの鑑賞や、テーブルマナー研修を、都内や県内のホテルで行い、マナーの向上に努めた。

（3）確かな学生募集活動の推進

- ① 近隣高校を訪問し、進路ガイダンスや進路指導教員と面談し、募集活動に努めた。
- ② 国や県の奨学金制度の積極的な活用を学生に推奨し、国や県の奨学金制度の活用者は82名となった。
- ③ 社会人向けにAO入試や社会人入試枠を設け、社会人学生の増を図った。
- ④ 広報誌（橘心だより）を発行し就職病院や高等学校に持参し本校の教育活動状況の周知に努めた。
- ⑤ 保健学科の増等に伴い、最寄り駅からの学生用として、ワゴン車を1台増やし、スクールバスとして2台の運行とした。
- ⑥ 近隣高校と連携し、指定校の拡充とインターンシップ校として1校増の2校受入れを図った。

3 施設等の状況

所在地	施設等	面積	構造、階	摘要
幸手市香日向 4-5-1	校舎	4,478.1 m ² 1階 833.19 m ² 2階 1401.41 m ² 3階 1097.74 m ² 4階 1097.74 m ² 塔階 48.02 m ²	鉄筋コンクリート4階 建の一部	幸手市より借用 年額 2,476,462 円
	校地	6,221 m ² うち校舎敷地 3,237 m ²		幸手市より借用 (上記校舎借用に含 む)
	駐車場	来客者用 310.5 m ²		幸手市より借用 年額 277,044 円
幸手市下川崎 152番～154番2	駐車場	学生用 2,689 m ²		細井勇様より借用 年額 630,000 円
幸手市千塚 1409 先	駐車場	職員用 1,875 m ²		関根俊男様、関根次郎 様より借用 年額 816,000 円